

地域まちづくりガイド



地域まちづくり

NAGOYA

の

みちしるべ



名古屋市

はじめに

名古屋市の地域まちづくりへの想い

これまでは行政主体のハード整備や全市的な視点からのまちづくりが進められてきました。今後はそのような取組みに加え、地域ごとの課題や魅力を踏まえたまちづくりに多様な主体が協力しながら取り組むことが大切です。

こうした取組みが、地域への愛着や誇りを醸成して地域ごとの特色あるまちづくりにつながると考えており、名古屋市都市計画マスタープラン(平成23年12月策定)で「地域まちづくり」と位置付けて推進しています。

まちづくりの形は地域によって様々ですが、地域のみなさんが中心となってまちの将来像を描き共有しながら、自立的・継続的に活動を進めていくためのヒントを、このガイドにまとめました。地域のまちづくりに興味がある人や、まちづくりの進め方に悩む人など、いろんなステップにいる方々にとって、このガイドが少しでも力になれば幸いです。



地域まちづくりとは?

地域がより良くなるために、
地域の力(考え)で地域を育てること

地域の力(考え)

まちの多様な主体(住民・自治会・NPO・商店街・企業など)が自らまちづくり活動に取り組むこと

地域を育てる

まちの魅力づくり、公共的な空間の利活用、住環境の維持、まちづくり構想やルールづくりなど、まちの環境や空間をつくる・つかう・まもること

このガイドの
使い方

① 地域まちづくりのプロセスを知る

まずは地域まちづくりの全体の流れから、自分たちの現在のステップを確認しましょう。さらに、次のステップを知る、これまでの振り返りなどにも使うことができます。

② 活動や組織のステップに応じたサポートを知る

どんな時にどんな制度が使えるのかを知ることができます。自分たちのやりたいことに合わせて、どんなサポートが必要なのかを調べてみましょう。

資料編

- ・事例
- ・地域まちづくりに関する制度
- ・関連制度

P.25-30



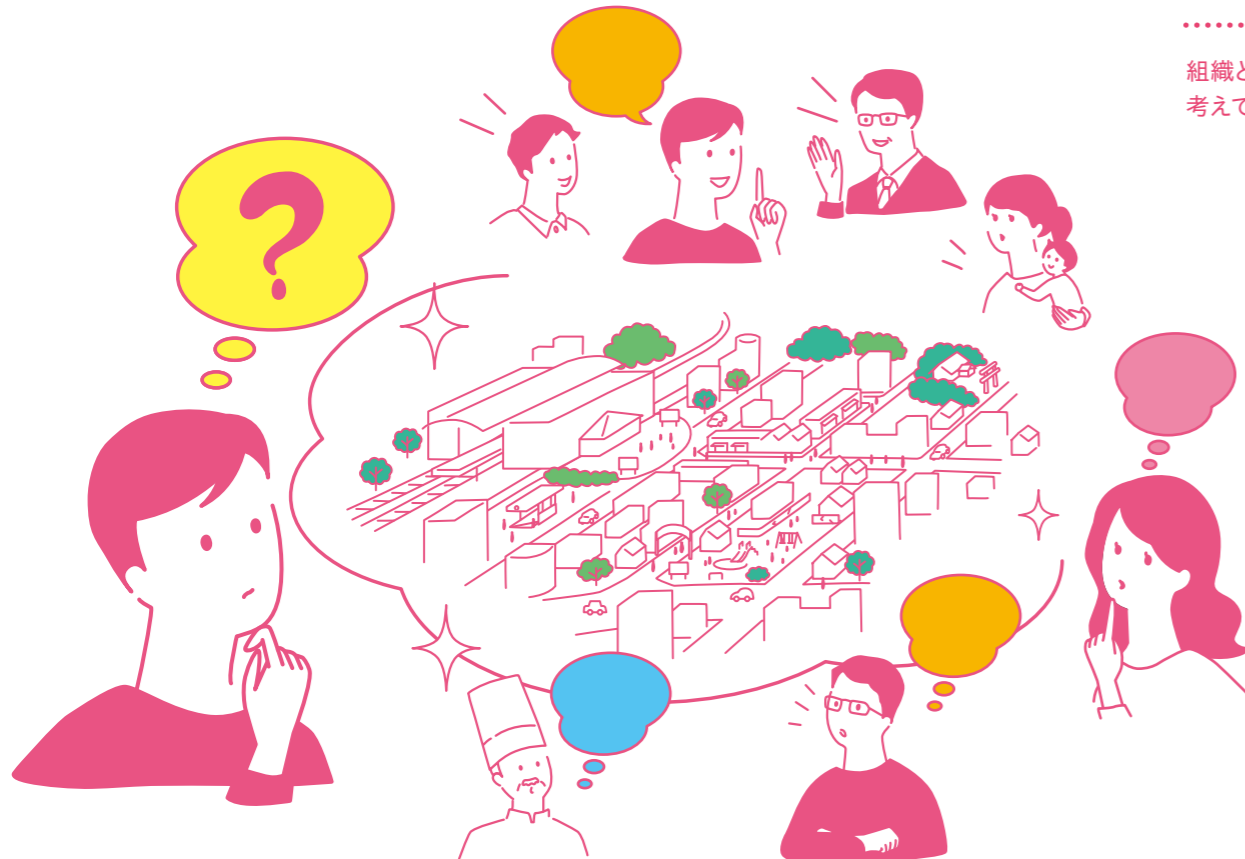
STEP 1

きっかけ～組織づくり

“まちづくりをはじめる準備をしよう”

「自分たちの住んでいるまちの魅力を伸ばしたい」「まちの課題を解決したい」など自分たちのまちをより良くしたい、という想いを活動につなげるためには、どうしたらいいのでしょうか。

まちづくり活動は一人で行うこともできますが、**仲間と協力することでより幅広い活動を行うことができます。**きちんとした**組織になっていると活動がスムーズに進んだり、公の助成制度や施設利用がしやすくなります。**まずは、**同じ想いを持つ仲間が集まりましょう。**ご近所の人や自治会などに相談してもいいかもしれません。



仲間集めのポイント

まちなんな人とながらることを目指しましょう。

◎ 同じ想いを持つ仲間

まちに感じる課題や魅力など、同じ関心を持つ住民からスタートし、活動を広めながら賛同する仲間を増やしましょう。

◎ いろんな属性の仲間

仲間は偏らず、様々な属性(住民、自治会、NPO 法人、商店街、企業など)や老若男女を集めましょう。

◎ 役割分担できる仲間

まちづくり活動に必要な役割(連絡、会計、広報誌制作など)を担う人材を集めましょう。

◎ 他の組織との連携

既存の組織(町会や自治会、NPO法人など)と調整し、また他の団体とも連携しながらネットワークを広げましょう。

仲間が集まったら…

組織として必要なコトを考えて決めましょう。

◎ 活動の内容を話し合う

何のためにどんな活動をするのか、みんなで共有しましょう。また、新しいメンバーが参加しやすい、オープンな環境を作ることも大切です。

◎ 活動資金について考える

活動をするための費用をどうするのか、会費で賄うのか、などを考えましょう。

◎ 役員(代表、会計、監査など)を決める

公の助成制度や施設利用の申請の時には必要になります。また、事務局体制をしっかりと構築することも大切です。

◎ 活動エリアを決める

自分たちが無理なく活動できるエリアを設定しましょう。そうすれば、活動をするとき、声をかける相手も見えてきます。

◎ 規約を作る

決まった内容をまとめて、規約を作りましょう。組織の体制もしっかりするし、外部の人にも伝えやすくなります。組織を持続的に運営できるように、特定の人に負担をかけすぎないことや、参加者が誰でも役割をもってやりがいを感じるようにすることが大切です。

地域まちづくりの制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣
(ステップアップアドバイザー)

仲間づくりや規約づくりなどについて専門家によるアドバイスを受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

関連する窓口

名古屋市市民活動推進センター

市民活動についての情報発信・交流・講座などを通じて市民活動のサポートを行っています。

お問い合わせ

名古屋市市民活動推進センター
Tel 052-228-8039
<http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>

地域とNPO等の多様な主体との協働事例集『地域もNPOもみんなであちづくり事例集』

地域コミュニティとNPO等の多様な主体とが協働して地域活動に取り組んでいる事例をまとめた冊子です。市民活動推進センターのウェブサイトでもご覧いただけます。



名古屋都市センター

まちづくりに関する助成や講座などと合わせて相談による支援を実施しています。

お問い合わせ

名古屋都市センター 支援班
Tel 052-678-2214
<http://www.nup.or.jp/nui/human/index.html>

地域まちづくり活動団体の登録

「自分たちのまちをより良くしたい!」という想いをもって活動をする仲間が集まり、組織の規約などが決まったら、「地域まちづくり活動団体」として登録をしましょう。登録をすることで、行政との継続的な関係ができるだけでなく、地域まちづくりに関する多様な支援を受けることができるようになり、地域まちづくりがよりスムーズに取り組めるようになります。



● 地域まちづくり活動団体の要件

- 1 規約を持ち、その中で会計の規定が定められていること
- 2 代表者が定められていること
- 3 地域の住民や会社などを含む10名以上で構成されていること

- 4 地域まちづくりの活動をしていること
- 5 無理のない活動エリアを設定していること

● 登録の申請に必要な書類

- 1 地域まちづくり活動団体登録申請書
- 2 規約
- 3 活動区域図 ※活動エリアを線で囲うなどして示してください

- 4 構成員名簿
※地域住民等に該当する構成員を示してください
- 5 役員名簿
※代表者が分かるのであれば構成員名簿でも可

登録すると受けられる
地域まちづくりの支援

定期相談

1年に1度、組織や活動を振り返り、次の活動につなげるために、地域まちづくりアドバイザーによる定期相談を受けることができます。

勉強会や交流会

市が主催する、まちづくりに関する勉強会や、他のまちづくり団体との交流会などで、地域まちづくりのヒントが得られます。

登録団体の情報公表

名古屋市の公式ウェブサイトでは登録団体の情報を公表します。

地域まちづくりカルテ

地域まちづくりカルテを作成し、登録団体の状況やまちづくりの目的などを団体と行政とで共有します。

地域まちづくり活動助成 (初期活動助成)

設立3年以内の登録団体は、地域に自分たちの組織をPRするためのリーフレットやパネルの作成に必要な活動助成を受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
TEL 052-972-2938

登録の期間は3年で何度でも更新できます。

STEP 2

まちを知る

“まちの魅力や課題をチェックしよう”

まちづくりを進めるためには、最初にまちのことを知ることが大切です。地域の基礎的な情報や、地域の課題や魅力など、整理してみると、まちの現状が見えてくるはずです。そして、まちの現状をしっかりと知ることは、まちにとって本当に必要なコトやモノが何なのかを考えるためには欠かせないプロセスなのです。

では、まちを知るために何をしたらいいのか。インターネットなどで調べてみたり、地域に古くから住む方に話を聞いてみたり、実際にまちをあるいて自分たちの目でまちを見てみたり、といった方法があります。広い視野でまちを眺めてみて、いろいろな切り口でまちの現状を調べることを意識してみると、意外と気づいていなかった魅力や課題を発見できるかもしれません。



まちを知る いろいろな切り口

.....
いろいろな切り口でまちを調べてみると、いろんなまちの現状が見えてきます。

◎人口・世帯

どんな年代の人が多いか
どんな世帯構成が多いか
...など

◎歴史

昔はどんなまちだったか
今はどうなっているか
...など

◎緑・景観

まちの緑の量は
地域ならではの景観はあるか
...など



◎土地建物の利用状況・都市計画

どんな建物が多いか
(住宅・商店・戸建・ビル...)
...など

◎交通

公共交通の利便性は
自動車や自転車の交通量は
...など



◎防災

発災時に危険な場所は
避難ルートは安全か
...など

まちの 課題と魅力

.....
いろいろな切り口から見えてきたまちの現状を整理すると、課題と魅力が見えてきます。

まちの課題になりそうなコトモノ

- 例えば
- 空き家が多い
 - 道路が狭い
 - 塀が危ない
 - 住民の減少
 - 景観の悪化
 - 緑地の減少
- ...など

まちの魅力になりそうなコトモノ

- 例えば
- 公園などの人が集まれる空間がある
 - 来訪者が多い
 - 寺社など歴史的な建物が多い
 - 緑や花が多い
- ...など

地域まちづくりの制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣 (ステップアップアドバイザー)

.....
まちの現状を知る方法や実施内容などについて、まちづくりの専門家からのアドバイスを受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

基礎的な情報

学区別生活環境指標

【名古屋市ウェブサイト】

.....
人口や住環境に関することをはじめとする地域の身近な情報が各種統計データ等をもとに学区別に整理されています。

サイト URL

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/3-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

名古屋市都市計画情報提供サービス 【名古屋市公式サブサイト】

.....
名古屋市の都市計画情報や都市計画基本図、都市計画写真地図、地震災害危険度評価図を、見ることができます。

サイト URL

<http://www.tokei-gis.city.nagoya.jp/>

まちづくり資料総合案内

【名古屋都市センター】

.....
都市計画や減災関連の地図情報(まちづくり情報システム)を見ることや、まちづくりライブラリーの所蔵資料の検索を行うことができます。

サイト URL

<http://nui-mdc.jp/>

STEP 3

活動をする

“身近で小さな活動を続けよう”

まちに必要なコトやモノが少しずつ見えてきてたら、無理なく自分たちでできるコトから始めてみましょう。まちに必要なだと考える小さな活動を積み重ねていくと、小さな成果が生まれ、少しずつまちがよくなっていきます。目指すゴールは同じでも、いろんなルートがあるので、取り組みながら自分たちの組織や地域にあった活動を見つけましょう。

活動内容によって人材や資金の確保や、行政への手続きが必要な場合もあります。このような必要な要素を揃える経験も、組織としての財産となるよう、共有しましょう。また、活動が終わるごとに活動を振り返り、記録をまとめたり、反省点を整理して、次の活動に活かしましょう。

たとえば
どんな活動?

まちや自分たちにとって必要なものが何かを考えて、それに合わせた活動をしましょう。

活動に
必要なコト

活動の場所や内容ごとに必要なものが異なります。活動の都度、必要なものをチェックしましょう。



◎ まちの現状を知るために…

- 地域内外の人と一緒にまちを歩く
- 地域に詳しい人に話を聞いてみる



◎ 取組みに必要な知識を得るために…

- 専門家から話を聞いてみる
- 他地域の事例を学ぶ勉強会を開催する

◎ まちの空間を変化させるために…

- 身近な場所で清掃活動を行う
- 可能な場所で花植え活動を行う



◎ いろんな意見を聞くために…

- 地域のイベントを通じてアンケートを行う
- 地域の人との意見交換会を開催する

◎ 体制や人のコト

- 活動にあたって必要な人員の確保
- 協力してもらう必要がある他組織との調整

◎ 資金のコト

- 活動にかかる費用の把握
- 費用支出のための財源確保



◎ 手続きのコト

- 活動を実施する場所を使用する許可取得
- 活動内容の行為に対する許可取得

主な手続き

施設や空間を使用する許可・承諾

活動実施の際に使用する施設や空間の管理者から、使用や占有に関する許可などを取得する手続きが必要となる場合があります。たとえば、公園・道路・河川敷・公開空地などを使用する場合。民有地でも所有者への承諾を得る必要があります。

活動内容の行為に対する許可・承諾

活動実施の際に行われる行為について、許可などを取得する手続きが必要となる場合があります。

たとえば、イベントでの食品営業に関する許可、違反広告物の除去活動をする団体としての認定など。

関連する制度

まちづくり講演会

まちづくりをテーマにした講演会等を開催しています。

お問い合わせ

名古屋都市センター 支援班

TEL 052-678-2214

<http://www.nup.or.jp/nui/human/index.html>

STEP 4

地域との関係づくり

“地域の人とお互いに協力しよう”

地域住民や自治会、NPO法人、商店街、企業、行政など多様な主体が一緒になってまちづくりを進めるために、協力しあえる関係をつくりましょう。

そのためにも、地域の住民などにとって、参加しやすく、意見を伝えやすいまちに開かれた組織となることが大切です。

地域内の多様な主体が、お互いのことを知って認め合えば、連携することも可能になり、お互いの得意分野をうまく組み合わせて、新たな活動や考え方に気づけるかもしれません。自分たちだけでは小さな活動しかできなくても、協力体制がつけられることで、まちづくりの可能性はグッと広がるはずです。



関係づくりのプロセス

.....
連携できる関係を少しずつ地域内に広げましょう。



情報発信の方法

.....
組織や地域に合った発信方法を考えましょう。

◎ 自分たちの存在を知ってもらう

組織や活動の情報発信を行い理解してもらいましょう。

◎ 他の組織などを知る

地域内のいろんな組織の人と話をしてみましょう。

● 住民 ● 自治会 ● 商店街 ● まちづくり団体 など...

◎ オープンな組織体制をつくる

組織への問い合わせや意見を言いやすい体制をつくりましょう。

例えば ● 問い合わせ先や窓口の周知 ● 参加しやすい体制

◎ お互いに認める

人や情報の共有を図りましょう。

例えば ● お互いの会議に参加しあう ● 共同での情報発信

◎ 連携してまちづくりをする

協力することでできるコトに取り組みましょう。

例えば ● イベントの共催 ● お互いの活動に協力しあう

◎ ITの活用

● ウェブサイト作成 ● SNS活用



◎ 紙媒体の活用

● ニュースレター発行 ● かわら版発行

◎ 他団体の情報発信媒体の活用

● 自治会の回覧板や、他組織のウェブサイトやニュースレターに取り上げてもらう

◎ メディアの活用

● 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などに取り上げてもらう

地域まちづくりの制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣 (ステップアップアドバイザー)

.....
情報発信の方法や地域との連携内容など、地域との関係づくりを進めるために必要なアドバイスを受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

関連する制度

コミュニティサポーター

.....
地域団体等からの相談に応じ、地域コミュニティやまちづくりの支援に関する知識・経験等を持つコミュニティサポーターが、地域団体等の運営や活動への支援等を行う制度です。

お問い合わせ

名古屋市民経済局地域振興課
Tel 052-972-3118

STEP 5

まちづくりの方針づくり

“まちの将来像を考えよう”

活動を始めて、地域との関係も深まり、少しずつまちの変化を実感できることでしょう。それと同時に、地域にはいろんな人がいて、まちづくりへの考え方は様々だということも出てくるはず。まちの将来像を目標として共有することで、まちに関わる人も参画しやすくなり、計画的にまちづくりを進められるようになります。

そこで、どんなまちを目指すのかという「まちの将来像」と、まちの将来像を実現させるためにはどんなコトやモノが必要なのかという「取組みの方向性」をしっかりと考えることが重要です。自分たちの組織の中で共有・共感できるものになったら、「まちづくりの方針」として見える化をして誰にでも伝わりやすいカタチでまとめましょう。



まちづくりの方針

自分たちの組織としての「まちの将来像」と「取組みの方向性」をまとめましょう。

方針づくりのポイント

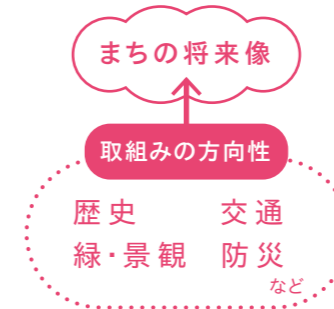
ポイントを押さえて効果的な方針をつくりましょう。

◎ まちの将来像

課題や魅力など整理をしたまちの現状を踏まえて、どんなまちにしたいのかを明確にしましょう。

◎ 取組みの方向性

まちの将来像は、何をすることで実現できるのか、どんな分野の取組みが必要なのか、などの視点でまとめましょう。すでに実施中の活動の目的も見えてくるはず。



◎ 誰にでも伝わりやすく

どんな人が見ても分かるような表現や内容にすることで、自分たちの組織の中だけでなく、地域のいろんな人との共有・共感がスムーズになります。

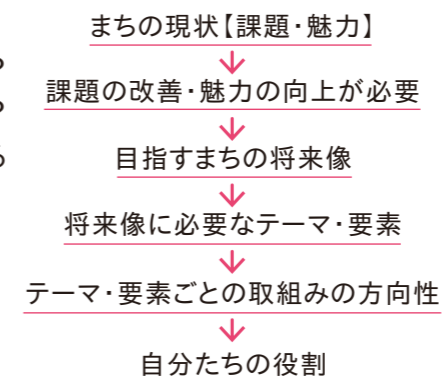
専門的な用語や難しい言葉	→	一般的な言葉・用語の利用
文章だけの説明	→	図表などの活用
膨大な情報量	→	概要版や資料編などの作成

◎ 自分たちの役割を明確に

まちの将来像を描くだけでなく、誰が何をやることで実現できるのかということを考えましょう。「誰かがやってくれる」ではなく、「自分たちがやる」という想いをしっかり書き込みましょう。

◎ 筋道を立てた構成

この将来像なのはなぜ？
この方向性なのはなぜ？
その理由まで読み取れるような構成にしましょう。



地域まちづくりの制度

地域まちづくり活動助成
(構想づくり活動助成)

まちづくりの方針をつくるために必要な活動にかかる費用の一部について助成を受けることができる制度です。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

地域まちづくりコンサルタント
活用助成

(まちづくり構想等策定助成)

まちづくりの方針をつくる際に、専門的な知識や経験などが必要となる場合にコンサルタントなどへの委託契約にかかる費用の一部について助成を受けることができる制度です。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

STEP 6

活動や収支の計画づくり

“取り組むための計画を立てよう”

まちづくりの方針にまとめた将来像の実現に向けて、組織運営や継続した活動を進めていくためには、計画的な行動が大切です。活動の先にあるまちの姿、5年後や10年後のまちの姿を意識しながら続けられる方法を考え、いろんな取組みにのぞみましょう。

まずは組織としての年間計画を立ててみましょう。やるべきことや足りないモノを確認しながら計画を立てたら、次は計画に沿って各取組みをはじめましょう。

1年間が終わったところで、振り返ってみて、年間の計画と実績を比べ、達成度合いを確認します。反省点などは、次の年間計画に活かしましょう。

また、年間計画だけでなく、まちの将来像の実現という大きな目標にどれくらい近づくのか、という視点で中長期の計画を立てることも考えてみましょう。



組織の年間計画

1年を単位に組織としての計画を「活動」と「収支」の視点で考えてみましょう。

その先…

経費と資金源

収支のバランスをとることを考えましょう。

◎ 活動の計画

組織として、何を目的に、どんな活動を、誰が、どのようにして、活動を実施するかを考えましょう。組織の運営に必要なコストも含めます。

- 活動の内容、スケジュール
- 活動を実施する体制
- 活動実施後の達成目標

◎ 収支の計画

組織の収入と、取組みや組織運営に必要な支出がどれぐらいなのか、収支は成り立つのか、という視点で考えましょう。

- 組織の運営に必要な経費と財源
- 活動や取組みに必要な経費と財源

◎ 組織の運営に必要な経費

- 定例会などの会場費
- 会議などの資料印刷費
- 拠点やウェブサイトなどの維持費

◎ 活動や取組みに必要な経費

- 広報紙やチラシなどの印刷費
- 備品購入費や消耗品費
- 講師などへの謝礼金
- 専門家へ業務を委託する委託費

◎ 自主的な財源

- 会費収入：個人会員、法人会員、賛助会員などの会員の種類と金額を分けることも考えられます。
- 売上収入：組織で作成したグッズや、事業による成果物などを販売して収入を得ることもできます。

◎ 外部に頼る財源

- 助成金：行政、財団、企業などが助成金によって支援しています。様々な種類があるので、活動趣旨にあった助成金を探してみましょう。
- 協賛金：広報紙やチラシなどに企業名や広告などを掲載することで、協賛金や広告料を集めるものです。
- 寄付金：個人、企業、団体などに寄付を募ります。資金以外にも、モノなどの提供による協力につながることもあります。

助成金の情報

なごや★ぼらんぼナビ
【名古屋市市民活動推進センター】
市民活動に関する情報を収集することができるウェブサイトです。掲載されている情報のひとつとして、助成金・補助金の情報を調べることもできます。

サイトURL

<http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>

地域まちづくりマネジメント認定

「こんなまちにしたいな」というまちの将来像を持ち、地域内のいろんな人と協力しながら、自立的・持続的にまちづくり活動に取り組もうとする登録団体は、「地域まちづくりマネジメント認定」を受けましょう。認定を受けることで、地域まちづくりに関する支援がさらに幅広く受けられるようになり、行政との関係もより深くなります。また、地域のまちづくりの担い手として、まちを育てる活動を行政とともに進められるようになります。

認定申請により、市は地域まちづくり応援会議を開催し、市役所内の関係課との議論を行います。その内容を参考にして、認定の可否を判断します。

● 地域まちづくりマネジメント認定の要件

- | | |
|--|--|
| <p>1 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり活動団体として登録していること</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 活動実績を持っていること</p> <p>3 <input type="checkbox"/> まちづくりの方針を策定していること</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 活動計画や収支計画を立て、活動をしていること</p> | <p>5 <input type="checkbox"/> 地域に開かれた組織であること</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 事務局があること</p> <p>7 <input type="checkbox"/> ウェブサイトやかわら版など、定期的に情報を発信していること</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 地域との協力体制が構築されていること</p> |
|--|--|

● 認定に必要な書類

- | | |
|--|--|
| <p>1 <input type="checkbox"/> 地域まちづくりマネジメント認定申請書</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 活動実績書 ※組織の設立経緯、活動目的、これまでの主な活動を書いたもの</p> <p>3 <input type="checkbox"/> まちづくりの方針またはまちづくり構想</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 活動計画書 ※直近2年分</p> | <p>5 <input type="checkbox"/> 収支計画書 ※直近2年分</p> <p>6 <input type="checkbox"/> ウェブサイトやかわら版等の情報発信手段のわかるもの</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 地域との協力体制チェックリスト
ニューズレターやかわら版などを地域内に回覧しているか、地域の他の団体と一緒に事業を行ったことがあるか、など</p> |
|--|--|

認定の期間は3年で何度でも更新できます。



認定を目指すための 地域まちづくりの支援制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣 (ステップアップアドバイザー)

認定の要件を整えるために必要なことなどについて、まちづくりの専門家からアドバイスを受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

地域まちづくり活動助成 (組織基盤強化助成)

ウェブサイトなどによる情報発信や収支計画を支えるための会計の仕組み作りのための助成金を受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

認定されると受けられる 地域まちづくりの支援

市職員担当者の派遣

認定団体の会議などに市職員等をオブザーバーとして派遣し、団体の取組みを支援します。

地域まちづくり応援会議の開催

市役所内部で開催する応援会議では、認定や認定更新の可否を判断するための議論のほか、団体への効果的な支援をするために市役所内の関係課で団体や活動の情報共有を進めます。

STEP 7

まちづくり構想づくり

“地域の人とともにビジョンをつくろう”

組織の想いとしてまとめた「まちづくりの方針」を、**地域共通の目標として「まちづくり構想」に進化させる**ことで、まちに関わるいろんな立場の人が同じ目標に向かってそれぞれの活動を進めることができるようになり、より推進力のあるものとなります。

「まちづくりの方針」を地域の中に伝え、それに対する意見を聞き、意見を踏まえて考えて練り直す、この流れを繰り返して、**地域で合意形成するというプロセスを経ることが、まちづくり構想をつくる上ではとても重要で欠かすことができません。**



「まちづくり構想」づくりのプロセス

組織としての「まちづくりの方針」を地域としての「まちづくり構想」にするため、地域での合意形成を進めましょう。

プロセス① 「まちづくりの方針」を伝える

地域の多様な主体に対して、まちの現状やデータ、まちの将来像、取組みの方向性などをいろんな機会でお伝えしましょう。



プロセス② 地域の意見を聞く

地域のいろんな人から、まちづくりの方針に対する意見や、まちに対する思いなどを聞きましょう。



プロセス③ 「まちづくり構想」のカタチにまとめる

聞き取りした意見や声を踏まえて情報を整理し、「まちづくり構想」としてまとめましょう。



プロセス④ 「まちづくり構想」を伝える

まとめたまちづくり構想を多様な主体にお伝えしましょう。



まちづくり構想の策定

上記のプロセスを繰り返し、地域の中で合意形成できたら、まちづくり構想の完成です。

「まちづくり構想」づくりのポイント

方針づくりのポイント以外にも大切なポイントがあります。

◎ 必要な内容を書き込む

まちづくりの方針の内容に加え、取組み体制や役割分担、取組みの目標時期なども明記しましょう。

◎ まちづくり構想策定までのプロセスの見える化

まちづくり構想がつくられた経緯が分かるようにしましょう。地域に意見を聞いてつくられたことが見えると、地域みんなの思いだということがより伝わります。

◎ 専門的なことは専門家に聞く

行政の計画や制度を担当部署に確認しましょう。まちづくりや都市計画などの専門家に意見を聞いてみることも大切です。

◎ 活動しながらつくる

活動を実施することで見えてくるコトもあるので、それを踏まえてまちづくり構想をつくりましょう。

地域まちづくりの制度

地域まちづくり活動助成 (構想づくり活動助成)

まちづくり構想をつくるために必要な活動にかかる費用の一部について助成を受けることができる制度です。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

地域まちづくりコンサルタント 活用助成

(まちづくり構想等策定助成)

まちづくり構想をつくる際に、専門的な知識や経験が必要となる場合にコンサルタントなどへの委託契約にかかる費用の一部について助成を受けることができる制度です。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

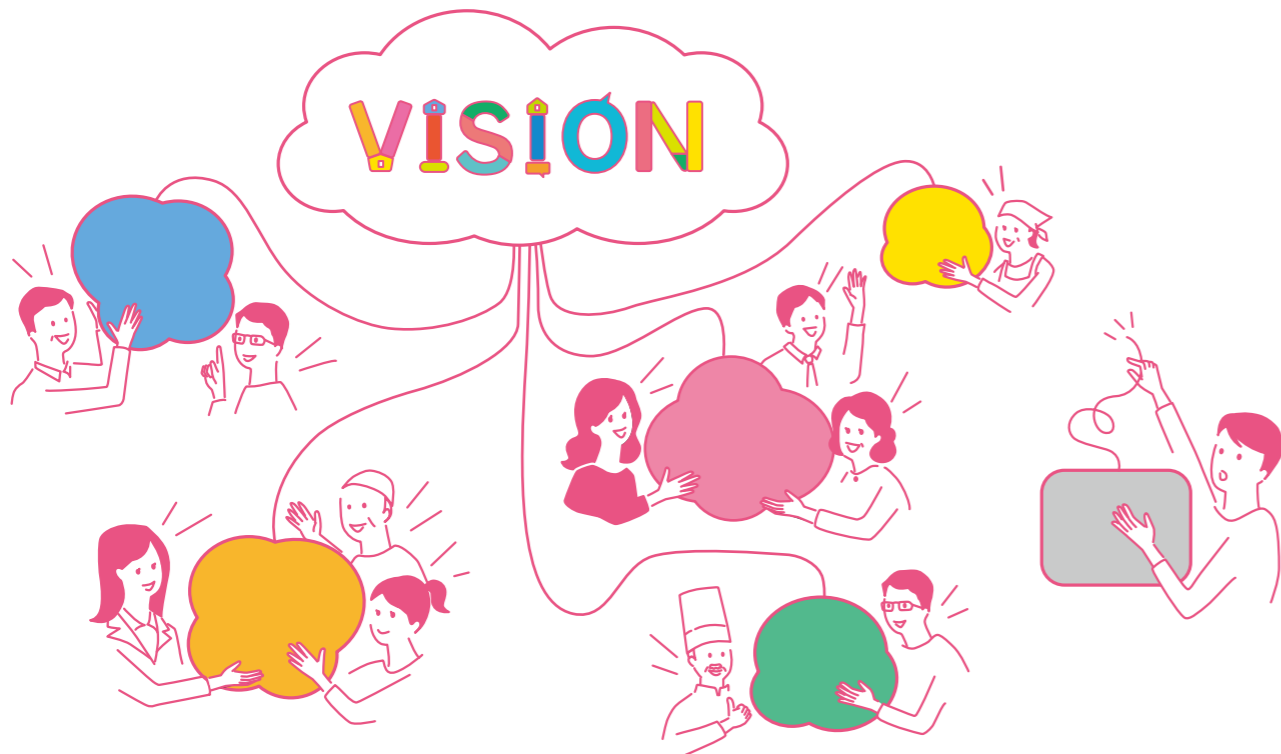
STEP 8

構想実現のための実践

“まちの将来像の実現に向けて動き出そう”

まちの将来像を地域で共有するまちづくり構想が完成したら、その将来像を実現するための実践に取り組みましょう。

やみくもに活動を行うのではなく、まちづくり構想に基づいた計画的・組織的な取組みを心がけましょう。取組みを進める中で、これまでやってきた様々な活動がどのように将来像へと結びつくのか、またどんなコトが足りていないのか、検証をすることで次の一步につながります。また、活動の中には自分たちだけでは進められないコトも出てくる場合がありますが、そんな時は地域の人や専門家などと協力・連携しながら実践を進めていきましょう。



実践を進めるためのポイント

構想の実現に向けてポイントを押さえながら実践しましょう。

◎ 地域の人と一緒に進める

地域のいろんな人に声をかけて一緒に進めるようにしましょう。まちに関わる人の意見を聞きながら進めることで、自分事として見てくれる人が増え、活動を継続的に進めていくための力となります。

◎ 経費と資金源を考える

実践にかかる経費と、それをまかなう資金源を考えましょう。組織運営や維持管理などを含めた組織全体の収支から、おおよその実践の規模や内容を検討し、資金が不足する場合は助成金の活用なども考えてみましょう。

◎ 新たな課題と向き合う

活動を進めていくといろいろな壁にぶつかる場合もありますが、新たに生じた課題ときちんと向き合い、ひとつずつ解決をしましょう。課題解決によってノウハウの構築にもつながります。

◎ 専門家の協力を得る

実践する内容の分野における専門家に協力を依頼してみましょう。専門家と連携して事業を一緒に進めたり、具体的なアドバイスをもらったりなど、協力の方法にもいろんな形があります。



◎ 他地域の取組みを知る

他の地域で取り組まれているまちづくりの事例を知りましょう。中には先進的な取組みをしている組織もあるので、そういった事例も参考にしながら、まちづくりを進めましょう。



地域まちづくりの制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣
(実践アドバイザー)

個別の実践内容などについて、専門家からアドバイスを受けることができます。

地域まちづくり活動助成
(実践活動助成)

まちづくり構想に基づく実験的な取組みなど、実践活動にかかる費用の一部について助成を受けることができます。

地域まちづくり実践提案

まちづくり構想の実現に向けて市と役割分担をして、ともに取り組む必要がある場合に、検討や実施を市へ提案することができます。

外部からの提案機会の提供

大学やNPO法人などの専門的な知識や経験をもつ者からの提案を受ける機会の提供を受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

関連する制度

地域の“まちづくりびと”養成講座

身近なまちの問題・課題を「ジブンゴト」とし、主体的にまちづくり活動に取り組む人材を育成する講座です。

お問い合わせ

名古屋都市センター 支援班
Tel 052-678-2214
<http://www.nup.or.jp/nui/human/support/index.html>

STEP 9

地域を運営する

“自分たちのまちを育てよう”

「まちをより良くしたい」という想いで、ここまでいろんな取組みを進めてきたと思います。どの取組みも**実施したら終わり**ということではなく、**自立的に継続することが大切**です。そのために必要となる組織体制や資金源などを整えましょう。

また、まちづくり構想に沿って取り組むなかで、計画どおりに進んでいるか、**定期的に振り返って確認**しましょう。

時には構想を見直すことも必要です。

そして、いろんな活動の成果や収益をまちに還元して、「**地域を運営する**」という視点を持つことで、自分たちのまちを育てることにつながります。

まちを
育てるためには

自分たちのまちを育てるための準備をしましょう。地域や組織によっては、さらに必要なコトがあるかもしれません。

◎ 地域のニーズを拾い上げる

「自分たちのまちを良くする」ための活動をしながら、地域の課題やニーズなどを考えましょう。活動する中で地域の人々の声を直接聴くことも大切です。そこから新たな活動などを考えるきっかけにもつながります。

◎ まちづくり構想を振り返る

ひとつの取組みがゴールに近づいた時、新たな仲間と認識を共有する時、新たな活動に取り組む時など、まちづくり構想を振り返りましょう。成果や達成度を確認するとともに、構想を見直したり、次の取組みにも活かすことができます。

◎ 組織の形を考える

活動の幅が広がった時は、組織の形を考えてみましょう。組織内に活動ごとのチームを作るほか、対外的な関係をスムーズにするため、NPO法人などの法人格を取得するなど、組織の状況に適した形を考えましょう。取組みが収束する時も見直しのチャンスです。

◎ まちへの還元を考える

活動によって得た収入やお金以外の活動成果を、どんな形でまちに還元していくかを考えましょう。「まちが良くなる」ということが誰にでも感じられるようになることで、「まちを育てる」意識が高まります。

◎ 行政の制度を活用する

活動への支援や規制緩和の仕組みなど、行政がもつ制度が活用できる場面があります。自分たちがやりたいことを進めるために必要な制度などについて、定期相談や勉強会の機会を通じて知識を得て、活用しましょう。

地域まちづくりの制度

地域まちづくりアドバイザーの派遣
(ステップアップアドバイザー)

法人化や都市再生推進法人の指定に向けて必要なアドバイスを受けることができます。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938

関連する制度

NPO法人に関する相談

NPO法人の設立や運営に関する相談をする窓口があり、認証等も行っていきます。

お問い合わせ

名古屋市市民活動推進センター
Tel 052-228-8039
<http://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>

『NPOの会計・税務・労務を支援する
専門家のための知恵袋』

専門家がNPO支援に入るときノウハウなどをまとめた冊子です。支援側の視点でまとめられていますが、NPOにとっても必要な事柄を知るために参考になります。市民活動推進センターのウェブサイトでもご覧いただけます。



都市再生推進法人の指定

指定を受けることで、都市再生整備計画の提案や都市利便増進協定の締結が可能となる制度です。

お問い合わせ

名古屋市住宅都市局まちづくり企画課
Tel 052-972-2938
<http://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000046814.html>

錦二丁目まちづくり協議会

団体の概要

都心に位置し、繊維問屋街として栄えてきました。事業者や地域に魅せられた人達で組織されています。2004年設立。

きっかけ 組織の設立

繊維産業が衰退し、人口減少により街の活力が低下する中、繊維業の未来だけではなく錦二丁目全体のまちの未来を考えようと組織化をしたことがきっかけです。その後、新しい業態の人や、地域外の会社も賛助会員という形で呼び込み、協議会がスタートしました。

構想の作成

地域内の開発業者に対し、まちの将来像を話すときに、地域として共有できるまちの方向性を持たないときちんと伝えられないと感じ、まちづくり構想の必要性が認識されるようになりました。

◎ 糸びすまつり

地域全体の動きとしては、2001年から糸びすまつりを手作りで開催しており、信頼関係が生まれていました。また、やれることからやる、というスタンスも大事で、構想を考えながらも、空き店舗のリノベーションなどのアクションを起こしてきました。



◎ しゃべり場

勉強会で地域外の人をたくさん呼んで話を聞きました。その人たちがその後、まちづくりと一緒に進めるプレーヤーになりました。地域外の人々の視点が加わることで、構想がよりよくなりました。



◎ まちの会所

「自分たちでまちづくり構想を作る」ことを意識し、中身は地域の人々の言葉で内容をまとめました。検討中の構想を、いつでもだれでも気軽に見ることができるようになっていました。



実践

まちづくり構想を作成したことを契機に、地域の人を中心に、沢山の人が活動に関わるようになってきました。また、策定した2011年当時は小さい動きだった、「都市の木質化」や「エアリアマネジメント」などの活動は構想に書くことで、方向性が共有され、いまではプロジェクトチームとして動いています。構想策定から5年が経過し、今ちょうど振り返るタイミングです。



名古屋駅地区街づくり協議会

団体の概要

名古屋駅の東口に位置し、企業等の法人が中心となって組織しています。2008年に設立。

きっかけ 組織の設立

名古屋駅地区の将来について、公式の場で話をする機会が増え、地域全体のあるべき姿について地権者として話し合い、共通認識を持つ必要が出てきたため、名古屋駅地区全体の街づくりを目的とした組織を設立しました。

構想の作成

ターミナルシティとして、地域全体で計画的な街づくりをすすめるため、まちあるきやワークショップ、説明会を行い、ガイドラインを作成しました。(名古屋駅地区街づくりガイドライン 2014)

実践

ガイドラインで定めた4つの戦略に基づき、様々な活動を行っています。他の団体や行政などと連携しながら活動をし、また成果を検証しながら、街づくりを進めています。

◎ 社会実験

公共空間の利活用策の推進に向けてまちづくり社会実験を実施しています。現在は、公共空間において民間広告掲示等を展開し、そこで得られた収益を地域に還元し、その事業についての検証をしています。



◎ エリアマネジメント

地区外組織との連携による新たな取り組みを検討し、実施するために全国エアリアマネジメントネットワークに加入し、シンポジウム等に参加しています。



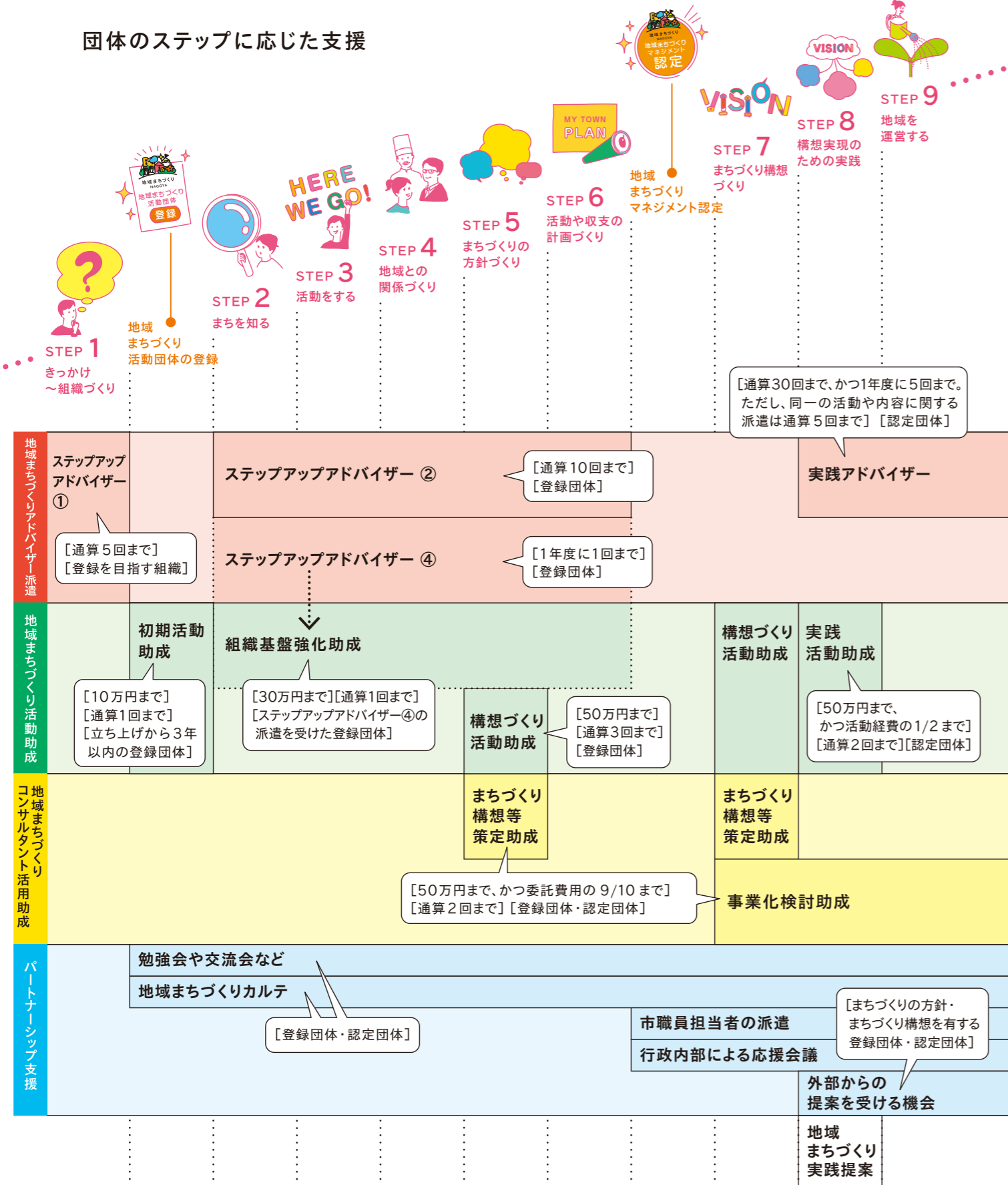
◎ 災害に対する体制

災害に対する地域・事業回復能力を強化するため、行政が主催する庄内川タイムライン会議に参加するなど、官民連携体制の構築を図っています。



資料編 | 地域まちづくりに関する制度

団体のステップに応じた支援



地域まちづくりアドバイザー派遣

ステップアップアドバイザー

組織として成長するため、専門家からのアドバイスを以下のタイミングで受けることができます。費用は名古屋市が負担します。

- ①地まち活動団体の登録を目指す ●[通算5回まで][登録を目指す組織]
- ②地域まちづくりマネジメント認定を目指す ●[通算10回まで][登録団体]
- ③法人化・都市再生推進法人の指定を目指す ●[通算10回まで][登録団体・認定団体]
- ④組織基盤強化助成を受けようとする ●[1年度に1回まで][登録団体]
- ⑤定期相談を希望する ●[1年度に1回まで][登録団体・認定団体]

実践アドバイザー

まちづくりの方針・まちづくり構想に基づいて実践を行うために必要な専門家からのアドバイスを受けることができます。費用は名古屋が負担します。

- [通算30回まで、かつ1年度に5回まで。ただし、同一の活動や内容に関する派遣は通算5回まで][認定団体]

地域まちづくり活動助成

初期活動助成

活動地域内の地域住民等に活動の目的や内容を周知するために実施する活動に必要な費用の一部を助成。

- [10万円まで][通算1回まで][組織の立ち上げから3年以内の登録団体]

構想づくり活動助成

地域まちづくりマネジメント認定を目指して、まちづくりの方針・まちづくり構想を作成するために実施する活動に必要な費用の一部を助成。

- [50万円まで][通算3回まで][登録団体]

実践活動助成

まちづくりの方針・まちづくり構想の実現のために実践する活動に必要な費用の一部を助成。

- [50万円まで、かつ活動経費の1/2まで][通算2回まで][認定団体]

組織基盤強化助成

地域まちづくりマネジメント認定を目指して、組織基盤の整備をするために必要な費用の一部を助成。

- [30万円まで][通算1回まで][ステップアップアドバイザー④の派遣を受けた登録団体]

地域まちづくりコンサルタント活用助成	
まちづくり構想等 策定助成	まちづくりの方針・まちづくり構想を策定するためにコンサルタントに委託する費用の一部を助成。 ●[50万円まで、かつ委託費用の9/10まで][通算2回まで][登録団体・認定団体]
事業化検討助成	地域まちづくりの実現を目的に、以下の事業化を検討するためにコンサルタントに委託する費用の一部を助成。 ●[50万円まで、かつ委託費用の9/10まで][通算2回まで][登録団体・認定団体] ①まちのルールづくり ②都市施設(公園、道路等)の活用計画または整備計画 ③市街地の整備計画 ④建築物の共同化計画または協調化計画 ⑤その他市長が必要と認める計画

パートナーシップ支援

勉強会や 交流会など	地域まちづくりの推進に必要な知識を得るための勉強会や、団体同士をはじめとした交流会などの機会を提供します。 ●[登録団体・認定団体]
地域まちづくり カルテ	組織や活動地域の状況、課題に関する情報等を、行政と組織等が共有するためにカルテを作成します。 ●[登録団体・認定団体]
外部からの 提案を受ける機会	大学やNPO法人などのまちづくりに関する知識および経験等を有する者から提案を受ける機会を提供します。●[まちづくりの方針・まちづくり構想を有する登録団体・認定団体]
市職員担当者の 派遣	地域まちづくりマネジメント認定団体が行う会議等に、市の職員をオブザーバーとして派遣し、行政と団体の情報共有を推進します。
行政内部による 応援会議	登録団体や認定団体に関する情報を行政内で応援会議を開催し、行政内部での情報共有を推進します。

地域まちづくり実践提案

以下の事項について、まちづくり構想の実現に向け、認定団体が市と役割分担し、ともに取り組む必要があると考える場合に、検討および実施を行政へ提案することができる制度です。市は提案を受けて行政内で実践検討会議を開催して提案内容について検討をします。(まちづくり構想をもつ認定団体)

- ①市の行政計画等にまちづくり構想の内容を反映する等、構想自体の取扱いに係る事項
- ②まちのルールづくり、空地等の活用等、まちづくり構想に基づく活動に係る事項
- ③その他市長が当該団体と市が協働して取り組む必要があると認める事項

資料編 | 関連制度

地域まちづくりに関する制度

分野や活動などによって、組織を位置づけるなどの制度があります。要件や手続きなどは担当部署にご確認ください。

違反広告物追放 推進団体	自主的に違反広告物の除却活動をしようとする市民の方々に、はり紙等を除却できる屋外広告物法上の権限を委任する制度です。 お問い合わせ 名古屋市住宅都市局都市景観室 TEL 052-972-2735
都市景観 市民団体	一定の地域における都市景観の整備を推進することを目的として組織された団体を都市景観市民団体として認定する制度です。技術的支援や活動費の助成を受けることができます。 お問い合わせ 名古屋市住宅都市局都市景観室 TEL 052-972-2732
建築協定 運営委員会	認可された建築協定の運営に関する事務等を行う地元の組織です。 お問い合わせ 名古屋市住宅都市局建築指導課 TEL 052-972-2918
公園愛護会・ 公園特定愛護会	市と公園周辺の地域住民が協力して公園をきれいに保ち、安全で楽しく利用できるように管理することを目的に、一定の要件を満たす団体を公園愛護会として認定する制度です。活動に対する支援を受けることができます。また、公園愛護会のうち、活動実績等の要件を満たす団体を公園特定愛護会として認定する制度もあり、活動に対する支援がより手厚くなります。 お問い合わせ 名古屋市緑政土木局緑地利活用室 TEL 052-972-2489
街路樹愛護会・ 街路樹特定愛護会	市と街路樹または街園周辺の地域住民が協力して、まちをきれいに保ち、街路樹を大切にすることを地域に広めることを目的に、一定の要件を満たす団体を街路樹愛護会として認定する制度です。活動に対する支援を受けることができます。また、街路樹愛護会のうち、活動実績等の要件を満たす団体を街路樹特定愛護会として認定する制度もあり、活動に対する支援がより手厚くなります。 お問い合わせ 名古屋市緑政土木局緑地利活用室 TEL 052-972-2489
活動承認団体	みどりのまちづくり活動を促進することを目的に、一定の要件を満たす市民や事業者で組織する団体が、公園、街路樹、市民緑地等で緑化活動を限定的に行うことを承認する制度です。 お問い合わせ 名古屋市緑政土木局緑地利活用室 TEL 052-972-2489
緑のパートナー	みどりのまちづくり活動を促進することを目的に、愛護会や活動承認団体としての活動実績など一定の要件を満たす市民や事業者で組織され、公園、街路樹、市民緑地等で総合的な管理運営を行う団体を認定する制度です。 お問い合わせ 名古屋市緑政土木局緑地利活用室 TEL 052-972-2489
川を美しくする会	市と地域住民が協力して行う河川等の美化活動や自然あふれる公共空間としての形成、市民の河川等美化思想の普及を図ることを目的に、一定の要件を満たす団体を承認する制度です。 お問い合わせ 名古屋市緑政土木局河川管理課 TEL 052-972-2882

地域まちづくりガイド
地域まちづくりのみちしるべ

平成29年8月発行

名古屋市 住宅都市局 都市整備部 まちづくり企画課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
[TEL] 052-972-2938 [FAX] 052-972-4162
[MAIL] a2938@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

デザイン・イラスト：株式会社クーゲート

◎イラスト・デザイン等の無断転載・複写を禁じます。



地域まちづくり
NAGOYA

名古屋市ウェブサイト

<http://www.city.nagoya.jp/>

地域まちづくり

検索

